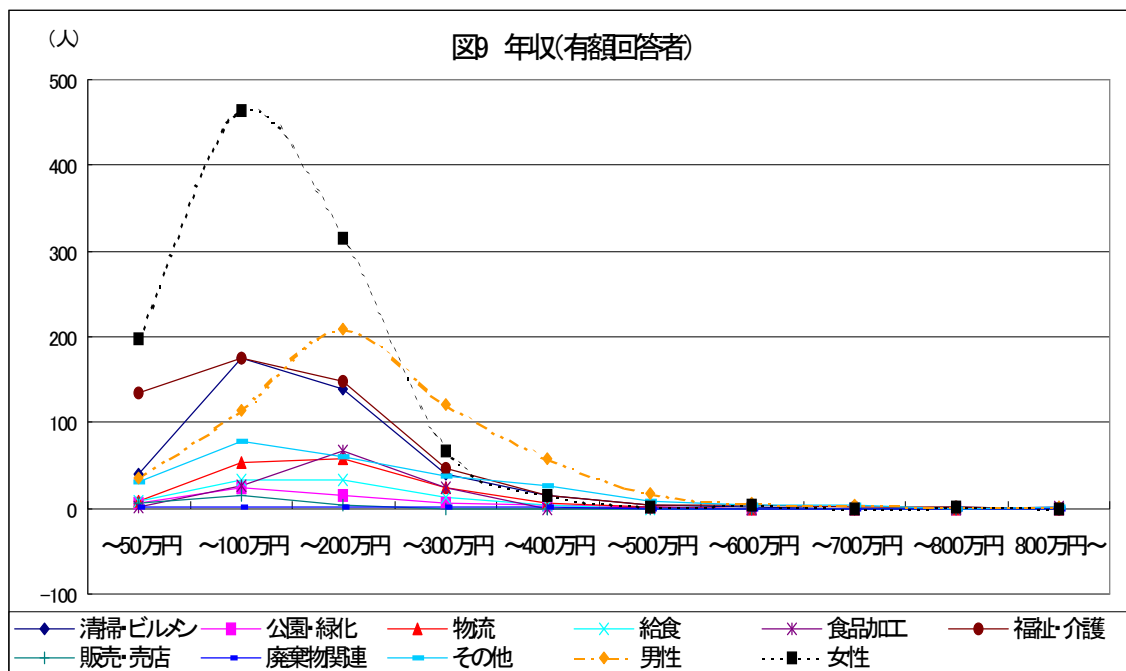


## 7. 年収について

総合を見ると、本人年収では「50万円以上100万円以内」をピークに漸減する。女性は100万円以内に頂点があり、男性は200万円以内に頂点がある。家庭を持つ男性の年代（30代以上）でも300万円以内が多い（表11）。しかし持家率が多いことを考えると、その分家賃がかからない人が多いのではないと思われる。



### III. 事業団に加入した理由、そして今の仕事に対する意識

#### 1. 事業団に加入した理由と働き続けている理由

「加入理由」と「働き続けている理由」についての回答はほぼ同じパターンを示した。両者とも1位が「生計の維持57.9%（前回比7.0ポイント↑）」、2位が「社会に役立つ27%」、3位が「働くことが好き25.5%（前回比5.1ポイント↑）」となっている（表12）。働き続けていると、事業団に加入したときより「労協の理念に共感」と「社会に役立つ」が微増する（「理念に共感」が1.4ポイント↑、「社会に役立つ」が2.6ポイント↑）。また、前回に比べて「働き続けている理由」でアップしたのは「社会に役立つ」（14.4ポイント↑の27%）、「働くことが好き」（3.1ポイント↑の25.5%）、「労協の理念」（3.1ポイント↑の9.2%）であった。

#### 2. 仕事をしていてよかったと思うこと

1番高かった項目は「新たな仲間ができたこと（47.0%、前回比0.8ポイント↓）」、2番目には「新たな知識の習得（31.4%、前回比10.3ポイント↑）」、3番目は「健康・体力増進（26.7%、前回比3.6ポイント↓）」であった（表14）。

図10 仕事をしていたよかったと思うこと

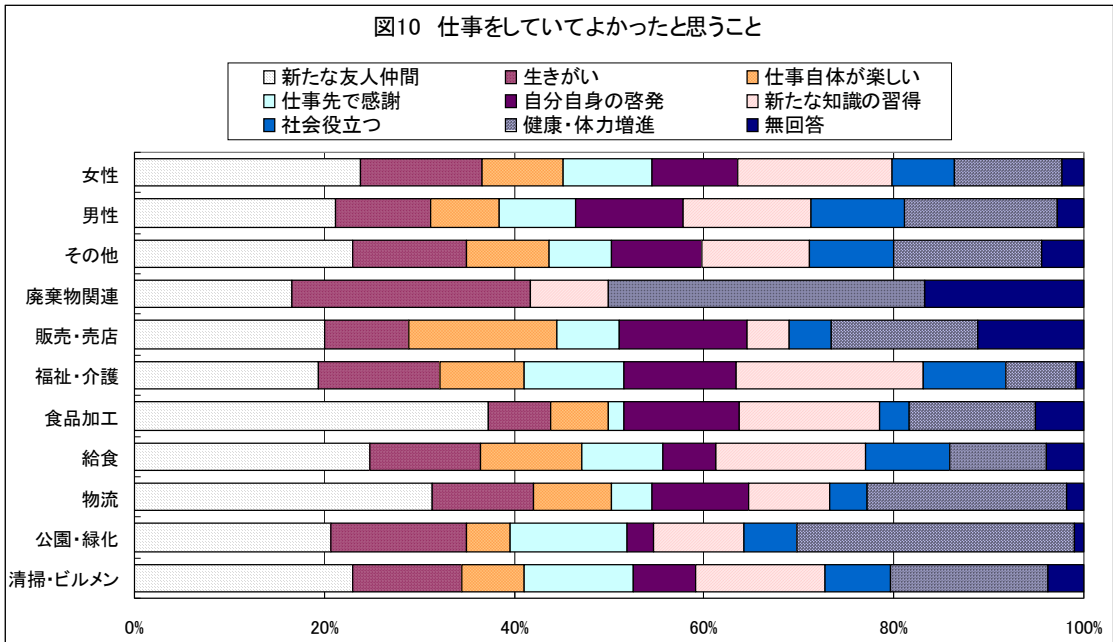
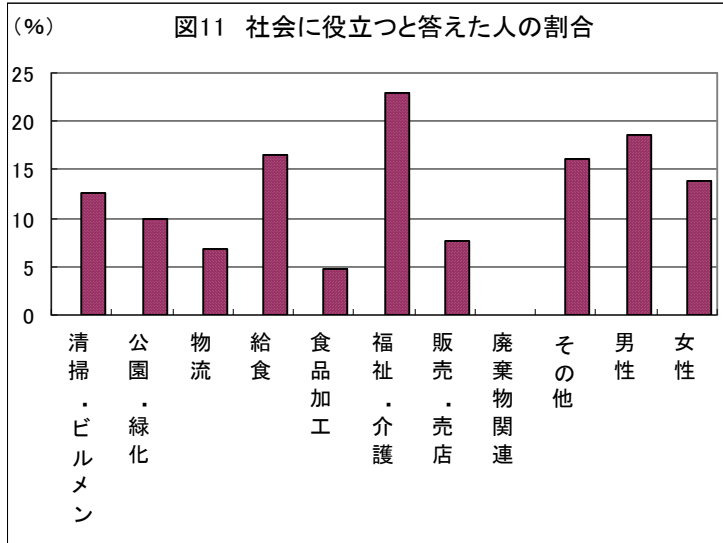


図11 社会に役立つと答えた人の割合



### 3. 働いて良かったと思うか、その理由

働いていて良かったかという質問に対して、「普段から思う」「ときどき思う」で82.4%を占め(前回比6.6ポイント↑)、「ほとんど思わない」「思ったことなし」が14.4%(前回比5.3ポイント↓)であった(表14)。

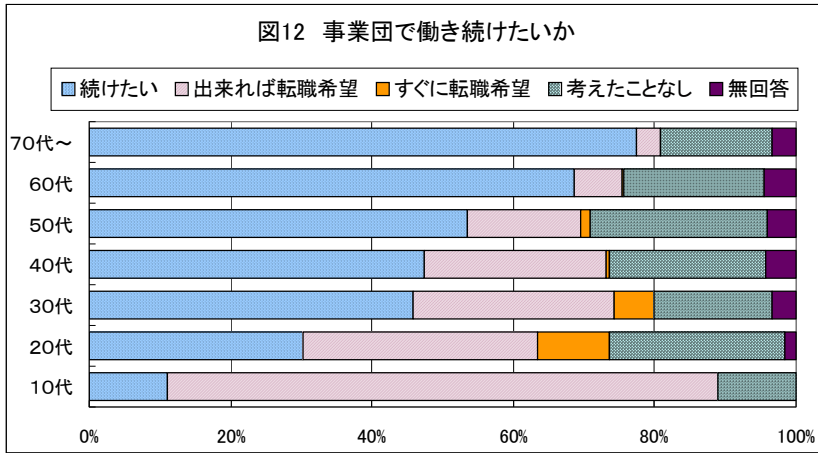
良かったと思う理由の第1位は、「時間が適当」で36%、「自分に合っている」が34.5%、「社会に目が向く」が20.6%、

「人間関係が良い」が18.1%であった(表15)。

思わないほうの理由の回答者は全体の16.7%で、うち過半数が「給与が低い」を挙げている(表16)。

### 4. 事業団で働きたいか、および事業団以外での就業意思

ほぼ半数(54.9%)の人が「働きたい」と答えている(表17-1)。20代は「働きたい」が30.2%にとどまったが、前回より5.9ポイントアップした。しかし、事業団以外への転職の意思は20代から50代で「あり」が「なし」を上回った(表17-2)。



職種別では、廃棄物関連の37.5%、福祉・介護の36.4%が「転職意思あり」と答えたのが最高で、最低は清掃・ビルメンの19.5%であった。前回は物流が介護・福祉と並んで「転職意思あり」(32%)のトップだったが、今回は24.7%まで下がった。公園・緑化の76.7%が「働き続けたい」と答えているのは、高齢者が多いからだと考えられる。

と答えているのは、高齢者が多いからだと考えられる。

#### IV. 仕事環境の意識

##### 1. 現給与の評価

全体的には、「まあまあ」30.8%（前回比2.6ポイント↑）、「少し少ない」29.9%（同1.3ポイント↑）、「少ない」23.1%（同0.4ポイント↓）と続く。「十分」「まあまあ」「少し少ない」の割合が増加し、「少ない」「全く少ない」の割合が減少した。職種別に「十分」「まあま

